

■「新版画」に情熱をかけた男たち

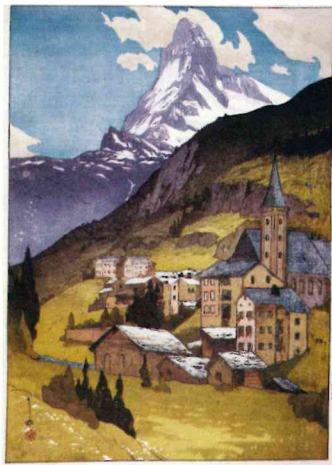
明治維新による西洋文化崇拜の影で、伝統的な日本文化は衰退の一途を辿った。浮世絵もその一つで、多くの版元が消滅していく一方、浮世絵は印象派の画家たちの心をつかむなど、海外では高い評価を得ていた。そのため、国内にあった作品の多くが海外に流出していったのである。

このような時代にもかかわらず、版元・渡邊庄三郎は、浮世絵の高度な技術を継承しつつ、時代に合った新しい木版画の創出に情熱を傾けていた。試作した作品が外国人に好評を得たことから手応えをつかみ、明治42年東京・京橋に渡邊木版畫舗を開いた。

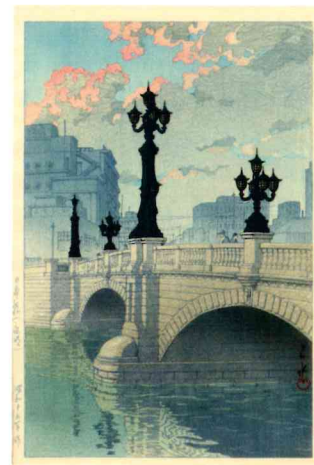
当時渡邊は数人の絵師と関わっていたが、中でも鎗木清方門下で日本画を学んでいた伊東深水は、早くから渡邊と組んで木版画を制作しており、これが同門の川瀬巴水に大きな影響を与えた。鎗木と渡邊は川瀬の絵が版画に適していると見抜き、川瀬もまた絵師として自分の道を選んだのである。そして、かねてから洋画家を絵師に迎えたいと願っていた渡邊が、白羽の矢を立てたのが吉田博であった。

版元・渡邊によってプロデュースされた「新版画」はアメリカで大好評を得たが、関東大震災によって渡邊の店はすべてを焼失した。渡邊、川瀬は力を合わせ、精力的に復興の道を歩んだ。吉田は震災以降、すべてを自分で監修し、浮世絵の技術に洋画技法を取り入れた高度な作風と、日本美術の独自性を目指しただけでなく、アメリカで大々的な「新版画展」を企画し、今日の新版画人気の礎を確立した。S. ジョブス、ダイアナ妃といった著名人も新版画を愛した人たちである。

川瀬巴水の作品は日本情緒あふれる情景、吉田博のそれは国内外の山岳や風景など自然美を題材とした洋風のもの為主で、作風は対照的な印象もあるが、高度な技術から生み出された両者の木版画は、人々の郷愁に響き、その美しさに誰もが息を呑むであろう。



吉田博《マッターホルン》
個人蔵



川瀬巴水《日本橋（夜明け）》
大田区立郷土博物館蔵



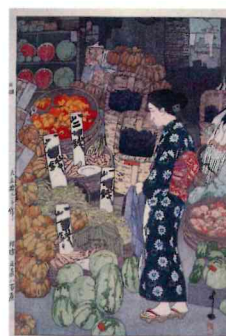
川瀬巴水《長野県稲荷山》
大田区立郷土博物館蔵



吉田博《ヴィクトリアメモリアル》
個人蔵



伊東深水《三井寺》(近江八景より)
渡邊木版美術画舗蔵



吉田博《根津正直八百屋》
個人蔵



川瀬巴水《馬込の月》
大田区立郷土博物館蔵

■会期：テーマによって2部制となります。12/21～1/5は入替休館

第1部「旅」 11月7日(土)～12月20日(日)

第2部「日本」 1月6日(水)～1月31日(日)

本展では、「旅」、「日本」というテーマによって会期を2部に分け、総点数約250点を展示します。ご来館された皆さまには、作品に感動いただけることはもちろん、彼らの旅路に自身を重ね、日本の伝統芸術に並々ならぬ情熱を傾けた彼らのドラマを垣間見ていただければ喜びこの上ありません。

■施設情報、開館案内

丸山晩霞記念館

〒389-0515 長野県東御市常田505-1 東御市文化会館内

TEL 0268-62-3700 FAX 0268-62-3262

開館時間：午前9時～午後5時 会期中は無休

入館料：一般200円(150円) ()は15名以上の団体

梅野記念絵画館の入館券提示で無料入館できます。

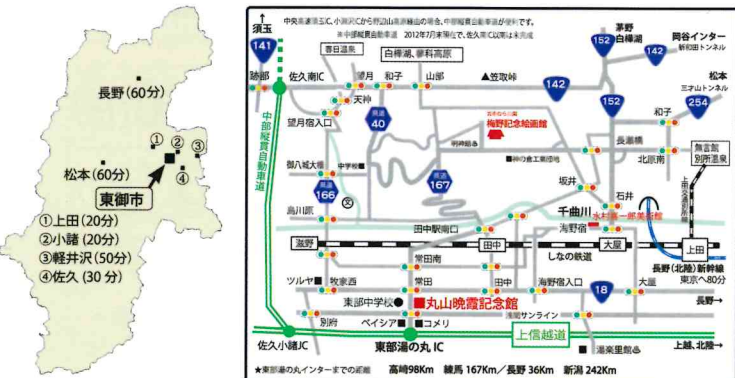


丸山晩霞記念館 HP

■アクセス

お車 練馬ICから2.5時間 鉄道 東京から最速2時間

- ◆関東、北陸方面から
上信越東部湯の丸インターから2分
- ◆中部、関西方面から
長野道岡谷インターから、新和田トンネル、国道152号線経由で約1時間
- ◆関東、北陸方面から
北陸新幹線「上田」にて、しなの鉄道乗換「田中」下車徒歩15分
- ◆中部、関西方面から
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換。「田中」下車徒歩15分



当館は東御市文化会館サンテラスホール内にごございます。

オープニング
ギャラリートーク「浮世絵から新版画へ」 11月8日(日) 14:00

浮世絵とは？ 新版画とは？ 誕生までの背景や作家についてご紹介します。
ゲスト：西山純子氏(千葉市美術館学芸員) ※日付にご注意ください。開催2日目となります。

本格的な木版画のワークショップ

X'masカード、年賀状を作ろう!

講師：杉山修氏(吉田版画アカデミー会員、日本山岳協会会員)

11月14日(土)、15日(日)

時間 10:00～16:00

参加費 2,000円



今回はハガキサイズの作品を作りましょう。木版画の基礎知識から技法、手順、用具の使い方等を体験していただき、単色もしくは2色刷りの作品を1点仕上げます。①下絵を仕上げる(版下を作る)、②版下を版木に写し取る(転写する)、③版木を彫る、④版木を摺る の手順で進めます。はがきサイズの下絵(ラフスケッチで結構です)は描いてきて下さい。出来上がった版木、作品はお持ち帰りいただき、ご自宅で増刷してください。必要な材料、用紙、用具、道具等はこちらで準備いたしますからお気軽に参加して下さい。要申込 0268-62-3700迄

※申込締切 11月8日(日) 各日定員10名 中学生以上 昼食をご持参ください。

ギャラリートーク 毎週土曜 11:00、14:00

※ご希望により左記以外も対応いたします。

参加者の皆さんとの対話を交え、当館学芸員が楽しくご案内します。

ミュージアムショップ

作品画集、書籍、カレンダー、ポストカード、川瀬巴水復刻作品などを販売

キッズワークシート 版画探検隊になろう 親子で楽しむ新版画

会場を探検しながら作品をよく見てみよう。などなどもあるよ。